

フィンテック「ロボ・アドバイザー」セミナー 3/24(木)

～為替の見えざる手に、AI(人工知能)が挑んだ60日間～

『有報教育研究所』運営の学びing(株)は、AIが2016/1/19から60日間にわたり為替トレンド(ドル円)を毎日予測、翌日結果発表してきたデータを総括するセミナーを開催します。

開催日時は、2016/3/24(木)14:00～16:55。会場は「ちよだプラットフォームスクウェア本館 5階会議室」。

外国為替相場には、その水準や相場動向を決める理論が存在しないという意見があります。

そのような中、将棋や囲碁のAI(人工知能)と同じ流れをくむ技術で開発した資産運用ロボ・アドバイザーAI「巫(かんなぎ)」が激動の2016年為替相場に挑んだ2016/1/19から60日間1日3回予測、翌日結果発表してきた「勝敗」「勝率」「累積利益幅」等を実際の出来事とあわせて総括します。

これらのAIサービスともに、有価証券報告書のXBRLを活用した投資教育を提案する『有報教育研究所』のフィンテックサービスをご紹介します。

【日時・会場等】

<フィンテック「ロボ・アドバイザー」セミナー
～為替の見えざる手に、AI(人工知能)が挑んだ60日間～>

- 日時: 2016/3/24(木) 14:00～16:55(受付13:45～)
- 会場: ちよだプラットフォームスクウェア本館
5階会議室501+502号
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
アクセス詳細→ <http://www.yamori.jp/access/>

■参加費: 無料

■定員: 55名

■詳細・お申込み:

http://manabing.com/fintech/seminar_20160324.html

【当日のスケジュール】

■14:00～14:40 『有報教育研究所』フィンテックサービスとAI「巫」の未来
講師: 学びing株式会社 代表取締役社長 齊藤常治

■14:40～15:20 大人気コラム「有報つまみぐい」講演編
講師: ネットスクール株式会社 代表取締役 桑原知之
Web担当 藤本拓也

■15:20～15:35 休憩

■15:35～16:45 資産運用ロボ・アドバイザーAI「巫(かんなぎ)」の通知表

講師: 学びing株式会社 取締役 開発部次長 高橋佑幸

■16:45～16:55 Q&A

※プログラムの内容、講演者は変更になる場合があります。

【戦績】

21戦 13勝 6敗 2見送り 勝率 68.42%

【累積利益幅】 2,215円 (約222 Pips, 1Pips=1銭)

予測日時	予測内容	予測時の価格	期間終了日時	期間終了時の価格	結果	利益幅
2016年02月23日 21時0分	ドルが下落(=円高)	112.05	2016年02月24日 06時59分	112.122	当たり(10銭内)	-0.072
2016年02月23日 15時0分	ドルが下落(=円高)	112.407	2016年02月23日 20時59分	112.04	当たり	0.367
2016年02月23日 07時0分	ドルが下落(=円高)	112.877	2016年02月23日 14時59分	112.419	当たり	0.458
2016年02月22日 21時0分	ドルが下落(=円高)	113.34	2016年02月23日 06時59分	112.918	当たり	0.422
2016年02月22日 15時0分	ドルが上昇(=円安)	112.91	2016年02月22日 21時0分	113.349	当たり	0.439
2016年02月22日 07時0分	ドルが下落(=円高)	112.575	2016年02月22日 14時59分	112.919	外れ	-0.344
2016年02月19日 21時0分	ドルが上昇(=円安)	112.797	2016年02月20日 06時59分	112.629	外れ	-0.168
2016年02月19日 15時0分	ドルが上昇(=円安)	113.06	2016年02月19日 20時59分	112.878	外れ	-0.182
2016年02月19日 07時0分	ドルが上昇(=円安)	113.237	2016年02月19日 14時59分	113.061	外れ	-0.176
2016年02月18日 21時0分	ドルが下落(=円高)	113.876	2016年02月19日 06時59分	113.275	当たり	0.601
2016年02月18日 15時0分	ドルが上昇(=円安)	113.886	2016年02月18日 20時59分	113.849	当たり(10銭内)	-0.037
2016年02月18日 07時0分	ドルが下落(=円高)	114.07	2016年02月18日 14時59分	113.92	当たり	0.150
2016年02月17日 21時0分	予測見送り (信頼係数不足のため)	114.102	2016年02月18日 06時59分	114.082	*****	0.000
2016年02月17日 15時0分	ドルが下落(=円高)	113.846	2016年02月17日 20時59分	114.133	外れ	-0.287
2016年02月17日 07時0分	ドルが上昇(=円安)	114.063	2016年02月17日 14時59分	113.873	外れ	-0.190
2016年02月16日 21時0分	ドルが下落(=円高)	114.037	2016年02月17日 06時59分	114.066	当たり(10銭内)	-0.029
2016年02月16日 15時0分	予測見送り (信頼係数不足のため)	114.585	2016年02月16日 21時0分	114.057	*****	0.000
2016年02月16日 07時0分	ドルが下落(=円高)	114.575	2016年02月16日 14時59分	114.577	当たり(10銭内)	-0.002
2016年02月15日 21時0分	ドルが上昇(=円安)	113.978	2016年02月16日 07時0分	114.598	当たり	0.620
2016年02月15日 15時0分	ドルが上昇(=円安)	113.903	2016年02月15日 21時0分	113.979	当たり	0.076
2016年02月15日 07時0分	ドルが上昇(=円安)	113.361	2016年02月15日 14時59分	113.93	当たり	0.569

実践財務分析講座

【桑原知之の実践！財務分析講座】

日商簿記検定対策講座の講師として多くの合格者を輩出する一方、経営者でもある桑原知之が、財務分析の基礎から実践的な考え方までをお伝えする約5時間の動画講座です。

受講期間中は「リアル財務分析ドリル Premium」が、ご使用になれます。

通常価格9,800円 有効期限購入後90日

<http://www.net-school.co.jp/m-school/>

※10名以上のビジネスパーソンや、就活生、内定者向けの一括受講やお支払い方法等はご相談ください。

貸借対照表と損益計算書の様式

分析指標のルール1

ROA = $\frac{\text{利益}}{\text{資産}} \times 100(\%)$ (流動比率)

PER = $\frac{\text{株価}}{\text{EPS}} \times 100(\%)$ (株主還元率)

項目	数値
売上高	5,354,428
営業利益	1,158,859
経常利益	2,475,287
利益剰余金	164,039
固定資産	677,762
総資産	1,581,261
株主資本	747,479
平均総資産	143,847
経常利益	891,526

タイトル	収録時間
第0部 アウトライン	0:21:46
第0部のアウトライン	
財務分析講座のアウトライン	
投資と投機(トレーディング)は違う	
財務分析と簿記会計の関係	
数字に強くなる方法	
ウソの掛け算と真実の割り算	
第1部 財務3表の構造と意味	1:19:30
第1部のアウトライン	
決算書の必要性	
決算書(財務3表)の種類	
貸借対照表と損益計算書の様式	
貸借対照表の本質と構造	
損益計算書の本質と構造	
キャッシュ・フロー計算書の構造と意味	
第2部 財務分析の目的と指標	1:46:49
第2部のアウトライン	
財務分析の分類	
分析指標のルール	
収益性分析	
安全性分析	
活動性分析	
第3部 それぞれの立場による財務分析	1:42:06
第3部のアウトライン	
財務分析表概要	
財務分析表の指標	
財務分析表の作成	
財務諸表の読み方	
危ない会社の見抜き方	
終わりに	
合計	5:10:11

1

自然言語処理+機械学習処理技術

有報を串刺し集計し、営業に活用

人間が目視で見えることを前提に書かれた様々な財務諸表の見方も活用

■ 自然言語(非構造化データ)
【企業の概況や事業の状況等】

上場企業3,000社超の
有報データ

■ 数字(構造化データ)
【財務諸表(決算書)】

『有価証券報告書を使った決算書速読術』のコラム2「有価証券報告書から10億円の売上を上げた営業マンの戦略」(2008年 CCCメディアハウス 別冊)

- ①経営指標の推移・セグメント情報(投資予算がありそうか?)
- ②従業員の状況(どれくらい売れそうか?)
- ③主要な設備の状況(どこに売るか?どこで売れそうか?)
→子会社の従業員数・面積の数字を見て具体的な判断材料とする
- ④役員の状況(どの拠点が投資能力があるか?)
- ⑤財務諸表の中の無形固定資産(ソフトウェア)の金額
→ソフトウェア資産が増えていると、IT投資も活発と判断
- ⑥関係会社の状況(子会社で営業を横展開することができるか?)
⑦どの拠点、どの会社が投資予算を持っているか?
→営業リソースの配分(お金があるところしか発注しない)

■独自の基準で探索し、定量と定性データを組み合わせた企業独自の指標を策定

【定量データ】

・キャッシュの多い企業を探索⇒『現金及び預金』(CashAndDeposits)が総資産(Assets)に対して何%か?

【定性データ】

・担保に供している不動産や債務保証が少ない企業を探索
→「注記事項」の中に『担保』や『保証債務』といったワードを分析
・事業所の新設や移転する企業を探索
→「設備の新設、除却等の計画」を分析

■ご参考価格

:50万円～
分析リストやデータ
作成はお見積りいたします。

2